

# 監督会議資料(県体)

令和7年5月24日(土)

時間: 8:20~

場所: 県民体育館大会議室

## 1. 選手変更及びミスプリントについて

## 2. 競技規則について

- (1) ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) 試合前の練習は1分間とする。
- (3) 接着剤の使用は、所定のラバー貼替所(1Fの体育館南入口)でのみ許可する。
- (4) 学校対抗戦ならびに個人戦ダブルスにおいては、ユニフォームを統一すること。
- (5) タイムアウトは全試合適用する。
- (6) アドバイザー(別紙)については、要項に記載している規定を遵守すること。
- (7) ラケット検査は適宜おこなう。
- (8) 感染症対策について  
以下の点について、生徒へ連絡をする。
  - ・マスクの着用は任意とする。ただし、人が密集する場面においてはマスクの着用を推奨する。
  - ・選手、ベンチの声出しについては認める。(観客席からの応援についてもプレーの妨げにならない範囲で認める)
  - ・ラケット交換は見せ合う形で行う。 ・試合後の握手はしない。礼のみとする。
  - ・卓球台の上で手を拭くことはしない。 ・シューズの裏で手を拭くことはしない。
  - ・設置されているアルコール消毒液でこまめに手指消毒をするよう心掛ける。
  - ・タオルは各自で持参したビニール袋に入れて、プレーの妨げにならない場所に置いて使用すること。

## 3. 競技の進行について

- (1) 24日(土) 学校対抗予選リーグ → 決勝トーナメント → 学校対抗決勝まで  
※ただし、ダブルスは11:00頃より試合可能などところから入れていく。決勝トーナメントと並行して入れていく場合もある。(ダブルス最終コール14:00予定、ベスト4を目標)  
※試合の進行が遅れている状況の場合、予備コート(サブアリーナ)で試合を進める場合もある。  
25日(日) ダブルス・シングルス決勝まで
- (2) 学校対抗戦は2コートを使用する。
- (3) 試合は全て3点先取とする。
- (4) オーダー用紙の提出について  
決勝戦のみ本部席へオーダー用紙を提出する。(審判長へ提出する)
- (5) 25(日)の朝は、競技に先立って学校対抗の部の表彰を行う(8時50分)。

## 4. 審判について

- (1) 学校対抗の部  
相互審判で行う。ただし、決勝戦の主審は外部審判員(大学生)、副審はベスト4の各校から出してもらった1名ずつで行います。
- (2) 個人戦の部
  - ①各コートの第1試合は、相互審判で行い、その後は敗者審判とする。
  - ②勝者は、試合結果を進行席へ報告し、敗者はコートに残って次の試合の審判を行う。
  - ③Dは準決勝から、Sは準々決勝から外部審判員が行う。ただし、敗者は副審をする。
  - ④審判は専用の用紙に選手2名の学校名と選手名をそれぞれ書き、さらに選手のアドバイザーそれぞれに署名をしてもらい、最後に対戦記録を書き勝者に渡す。勝者が本部の進行まで持参する。

## 5. その他

- (1) 練習について ●5/24(土)・5/25(日) 8:00~8:25(前半)  
(メインアリーナ) 土佐女・土佐・学芸・高知・土佐塾・追手前・丸の内・小津・国際  
高知工・高知商・高知農
- 5/24(土)・5/25(日) 8:25~8:50(後半)  
明德・高専・室戸・安芸・城山・岡豊・佐川・須崎総・中村・清水  
宿毛・宿毛工・幡多農・窪川・東工・嶺北

※指定されたコートで練習をすること

※練習については、監督、外部アドバイザー、エントリー選手に限る

※サブアリーナの使用も可能とする。割り当て時間を守り感染症対策を講じて使用すること。  
(前半・後半) また、開会式後は練習会場として開放する。(5/24は17時、5/25は15時までとする) ただし、進行の遅れ等で試合が入る場合もある。※試合を優先とする

(2) 試合進行に協力すること。

①試合前の練習1分 ②ベンチコーチ1分 ③コール後5分以内に試合開始

④試合後速やかに勝者は本部へ結果報告 ※次の試合の選手はアップスペースで待機

(3) 開会式(24日8時55分) 選手は本部前に各校1列で整列する

(4) 貴重品の管理、ゴミの処理、上下靴の区別は、各校で責任をもって行うこと。

(5) 体育館の開場は、24日・25日ともに7時50分。

(6) ベンチコーチは、団体戦、個人戦共に1名のみとし、途中交代は認めない。ただし、同一のアドバイザーであれば何度でも出入り可能。

ベンチコーチは、当該高校部員(男女を問わない) + 監督(学校対抗) + アドバイザー2名(男女別)に認める。(学校対抗監督は2025役職者章を着用すること)

(7) コートサイドでのビデオ撮影は、本人及びチームの試合のみ認める。観客席からの撮影は個人情報観点から禁止とする。

(8) 上位大会への参加について

①四国大会 団体4、ダブルス8、シングルス16

②インターハイ 団体1、ダブルス2、シングルス4

※エントリー順位について

県体の成績を優先する。同ポイントの場合は、前年度冬季大会並びに当年度春季大会のポイント(どちらか)の高い方を上位とする。これも同点の場合は抽選とする。

(9) シングルスベスト4の選手は、国体1次予選(6/28 県民体育館)を免除され2次予選へ出場できる。尚、1次予選を免除された選手は、2次予選に出場することを願うこと。国体2次予選(6/29 県民体育館)は、県体ベスト4 + 1次予選ベスト4(+ふるさと選手)の計8(9)名でリーグ戦を行う。

(10) ステージ前に選手のアップ場および次の試合の待機場所を設けています。組合せやコールを参考に適宜活用し、進行に協力して下さい。ただし、応援やアドバイスは禁止とする。

(11) 表彰

団体、ダブルス、シングルの1位~3位を表彰する。

団体優勝校から男女各1名に殊勲賞を与える。

団体準優勝校から男女各1名に敢闘賞を与える。

団体優勝校、準優勝校以外から、団体または個人戦において活躍した選手に優秀選手賞を男女各2名に与える。

(12) 進行の割振表

24日(土)11:00~12:30【土佐女、宿毛工】、12:30~14:00【宿毛、城山】、14:00~15:30【安芸、土佐】

25日(日)9:30~11:00【窪川、室戸】、11:00~12:30【嶺北、清水】12:30~14:00【佐川、岡豊】